

教科	国語科	科目名	国語総合	単位数	3
学科	全学科	学年	1 学年	履修区分	必修
使用教科書	東京書籍 新編国語総合				
副教材など	第一学習社 カラー版 新国語便覧、 尚文出版 常用漢字クリア 国語辞典、古語辞典 など				

1. 科目の目的

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2. 授業の内容と進め方

- ・論理的な文章を扱う場合、構成や展開に注意して内容を理解し、主題を的確にとらえることを目指します。また、必要に応じて要約も行います。
- ・文学的な文章を扱う場合、描かれた人物や情景、心情などを表現に即して読み味わい、的確にとらえることを目指します。
- ・古文の場合、文語のきまり(歴史的かなづかい、用言・助動詞の活用や用法、係り結び、敬語法、音便等)についても学びます。
- ・漢文の場合、訓読のきまり(訓点、書き下し文)を理解し、漢文特有の表現に親しむことを目指します。
- ・さまざまな文章を読むことを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、深めていきます。
- ・漢字の読み・書き、語句の意味・用法などを理解し、語彙を豊かにします。
- ・文や文章の組み立て、表記の仕方などを理解し、目的や場に応じた表現を身につけるとともに、様々な表現方法、伝達方法についても学びます。

3. 学習する上での留意点

- ・授業には集中して臨み、ノートをきちんと取るのはもちろんのこと、必要なことは自分でメモしたり、まとめたりすること。
- ・準備するよう指示された教材は、必ず学校へ持参すること。また、配布されたプリント類はノートに貼るなどして整理に努めること。
- ・不確かな言葉があった場合は、必ず辞書を引いて正確な理解や表現に努めること。
- ・家庭学習課題として出されたものは、辞書や便覧等を利用して自分の力でを行い、提出期限を厳守すること。また、やむを得ず期限を遅れる場合は、必ずその旨を教科担当者へ連絡すること。
- ・日ごろから新聞や書物を読んで、自分の考えを表現するための材料集めに努めること。

4. 課題等について

- ・語彙を豊かにし、国語についての知識を深めるために、主に常用漢字クリアやカラー版新国語便覧をもとにした課題を出すことがあります。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評 価 規 準
関心・意欲・態度	1. 文章の内容や特色を進んで読み取り、自分の意見や考えを広げたり深めたりしたか。 2. 言葉に関心を持って適切に使用したり、自分の考えを進んで伝えたりしたか。 3. 辞書や図書館などの資料を利用し、疑問点や興味のあることを進んで調べようとしたか。
話す・聞く能力	1. さまざまな問題について自分の考えを持ち、筋道を立てて話したか。 2. 目的や場面に応じて効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりしたか。 3. 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場に立って話し合いを行ったか。
書く能力	1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。 2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心情描写や情景描写を味わったか。 3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。
読む能力	1. さまざまな文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、要約したりしたか。 2. 文章を読んで構成や表現の特色をとらえたり、人物の心情描写や情景描写を味わったか。 3. 積極的に読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりしたか。
知識・理解	1. 目的や場に応じた話し方や言葉づかい、文法、漢字等を理解して、語彙を豊かにしたか。 2. 文語のきまりや訓読のきまり、古典の時代背景などを正しく理解したか。 3. 国語の成り立ちや特質、言語の役割などを正しく理解したか。

6. 評価の方法

- ・定期考査
- ・小テスト
- ・教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度
- ・授業ノート
- ・作品
- ・課題の提出状況

長崎県立長崎工業高等学校

《指導計画》 科目名 国語総合

1 学年

3 単位

学期	月	学習内容 (単元・考查等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	授業を受けるにあたっての心構えについて・図書館オリエンテーション 現代文編 随想1 「海流 ミクロネシア」(石川直樹) 現代文編 小説1 「とんかつ」(三浦哲郎)	・国語の学習について理解する。 ・話題とのつながりをおさえつつ筆者の思いを読み取る。 ・小説に親しむ。 ・会話や行動の描写に着目して心情を読み取る。 ・具体例の役割を押さえながら読み、筆者の主張をつかむ。 ・評論文読解のポイントを理解する。	定期考査、小テスト、教材の準備、学習活動への参加姿勢や態度、授業ノート、作品、課題の提出状況等により、総合的に評価する。
	5	現代文編 評論1 「無彩の色」(港千尋) ●評論の読み方 中間考査 古文編 古文入門 古文に親しむ ●古文のしるべ① 宇治拾遺物語「児のそら寝」 ●古文学習のしるべ② 今鏡「用光と白波」 ●古文学習のしるべ③ 宇治拾遺物語「絵仏師良秀」	・古典の言葉に慣れ、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・登場人物の心情や人物像をとらえる。 ・古語と現代語の違いについて学ぶ。 ・描かれている価値観を読み味わう。 ・用言の活用や係り結びを理解する。 ・登場人物の心情や描かれた情景を表現に即して読み取る。 ・働く人の思いに触れ、社会に生きる自分の将来について考える。	
	6	現代文編 働くということ「手技に学ぶ」(前田英樹)	・働く人の思いに触れ、社会に生きる自分の将来について考える。	
	7	期末考査 現代文編 詩「空をかついで」(石垣りん) 詩「二十億光年の孤独」(谷川俊太郎) 言語活動 スピーチする	・詩に使われている言葉が象徴するものを考える。 ・特徴的表現に着目してその効果を読み取る。 ・スピーチを通して交流し、考えを深める。	
	9	漢文編 漢文入門 訓読の基本	・訓読のきまりを理解する。 ・漢文を音読し、漢文に親しむ。 ・登場人物の心情変化を場面展開に即して読み取る。 ・小説の読解ポイントを理解する。	
	10	現代文編 小説2 「羅生門」(芥川龍之介) ●小説の読み方 中間考査 古文編 随筆 徒然草「亀山殿の御池に」 「雪のおもしろう降りたりし朝」 枕草子「うつくしきもの」	・古文の表現に慣れ、作者の考えを読み取る。 ・作者の考えを踏まえて、ものの見方・感じ方を豊かにする。	
	11	現代文編 小説3 「夢十夜」(夏目漱石) 漢文編 漢文入門 故事「守株」 「借虎威」 現代文編 随想2 「待つということ」(角田光代) ●随想の読み方	・多様な小説を読んで読書の幅を広げる。 ・表現に即して読み深め、独自の世界観を楽しむ。 ・漢語と現代語のつながりについて理解する。 ・漢文に慣れ、内容の面白さを読み味わう。 ・随想の読解ポイントを理解する。 ・構成を意識して読み、筆者が考えたことを読み取る。	
二 学 期	12	期末考査 古文編 物語 伊勢物語「筒井筒」 言語活動② 古典を自分の言葉で書き換	・描かれた人物・情景・心情を表現に即して読み取る。 ・想像力を働かせて作品を読み深める。	
	1	現代文編 評論2 「真の自立とは」(鷲田清一)	・論展開を意識しながら論旨を的確につかむ。 ・テーマに対する自分の考えを持ち、視野を広げる。	
	2	漢文編 唐詩 唐詩八首 ●漢文の窓② 言語活動③ 訳詩を書く	・漢文を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・古典詩を自分の言葉に直して味わう。	
	3	現代文編 短歌・俳句「春風や」【俳句】 古文編 物語 平家物語「木曾の最期」	・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、主題を読み取る。 ・和漢混交文の文章のリズムを読み味わう。	
	4	漢文編 論語 論語八章	・登場人物の心情や描かれた情景について理解する。 ・孔子が理想とした生き方を読み取り、自分の生活経験と照らし合わせて理解を深める。	